

平成十七年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成十七年八月一日～十月末

投句数 二、二一九句

特選三句

天

飛行士は湘南育ち土用波

神奈川県横浜市 大竹のり子

地

ひぐらしの真っ只中や弓絞る

神奈川県横浜市 岡田美紀子

人

一山の風に溶けゆく残暑かな

東京都多摩市 中山正喜

入選句

一般の部

名月に浦の和賀江も浮かび居り

神奈川県横浜市

山下省三

秋蟬の声ふり零す虚子の墓

愛知県岡崎市

市川ち江

老いぬれば誰彼遠し鰯雲

神奈川県鎌倉市

小室房子

鐘一つ鳴らして萩の寺を辞す

神奈川県鎌倉市

友成節子

廻覧板萩をくぐりて廻りくる

神奈川県鎌倉市

平野シヅ

浪音の遠くなりたり昼の虫

東京都江戸川区

安藤節子

寿福寺の開かぬ堂門萩の風

神奈川県茅ヶ崎市

川口愛子

尼寺に小さき梵鐘うすもみじ

神奈川県横須賀市

西山公代

富士見んと展望台へ木の実踏む

神奈川県横浜市

岸本隆雄

浮雲の二つ相寄る今朝の秋

神奈川県鎌倉市

遠藤金子

天上に虫の声聞く薪能

神奈川県横浜市

鈴木基之

秋日和どこ曲ろうか風に問ふ

千葉県松戸市

高瀬恭二

揚舟の影重ね合ひ暮の秋

東京都世田谷区

中村芳子

萩寺の昼を灯して秋しぐれ

東京都小金井市

石川明子

山崩す音に震へる紅葉かな

神奈川県鎌倉市

星野谷光夫

尾花咲く腰越状の万福寺

神奈川県鎌倉市

萩野英利

道問ふも一会の縁秋の寺

東京都小金井市

塙光子

立子句碑掃く人の去り小鳥来る

神奈川県横浜市

柳沢栄蔵

長谷寺の紅葉明りに写経堂

神奈川県海老名市

尾野福蔵

鳥渡る衣張山を真向ひに

神奈川県鎌倉市

吉良江美子

(順不同)

入選句

子どもの部

日の光柿に当たってまぶしいな

千葉県千葉市

小湊一輝

紅葉の葉ぽちゃんど川で船になる

東京都調布市

清田麻衣

紅葉の木絵の具の色をばらまいて

東京都調布市

本橋沙椰

ひがんばなほのおのようにさいている

神奈川県横浜市

辻本真彩

大仏と遊びたいなと赤とんぼ

千葉県千葉市

山田優

大仏とおしゃべりしてる鈴虫さん

千葉県千葉市

落山瑛子

歩くたび聞こえてくるよ虫の声

神奈川県横浜市

大塚瑞季

秋風がやさしく包む源氏山

神奈川県横浜市

茅原大地

あきばれのいけにはカメがおよいでた

神奈川県横浜市

森谷真子

寿福寺の蝉と小鳥の二重奏

神奈川県平塚市

中野花佳

(順不同)